

## 第4学年 学級活動(2)指導案

### 1. 題材名「掃除にっこり大作戦！」

### 2. 題材設定の理由

○ 本学級の児童は、係や代表への立候補が多く、チャレンジ精神が旺盛である。目新しいことには、意欲的に取り組む児童が多い。しかし、やる気はあっても継続して根気強く取り組むことを苦手としている児童がおり継続力がない。また、グループ活動や掃除では、「自分一人くらい手を抜いても大丈夫だろう。」と、考えている児童がおり、しなければならぬから仕方なく行っており、意欲的に取り組もうとする自主的な姿が見られないことがある。実際に一人が、間違っただけの行動を起こしたとき、間違っていると分かっているにもかかわらず「自分だけじゃないからやってもいい。」という気持ちを持っている。「ルールは守らなければならない。」と、思っている児童は多いが実際には楽な方へ流されがちである。

男女の仲はよく、一人で寂しそうにしている子どもがいると誘い合って仲間に入れる姿がよく見られ、レクレーション係が中心となって工夫して遊んでいる。子ども同士のトラブルの原因で一番多いのが、勘違いや意志疎通不足である。「やられたらやりかえしてもよい」ということを正論としている児童が多く、トラブルがエスカレートする要因となっている。

「勉強に集中できる学級」「けんかがなく、楽しく・明るくする、協力できる学級」「進んで取り組み、続けることのできる元気な学級」にしたいと話し合い、学級目標として、「集中・協力・元気」と掲げている。学級目標から必要と考えた係活動では、活動シールを貼ることで個人のがんばりが見え、継続して取り組む意欲が高まってきている。

○ そこで、本題材は学級の中の課題に気づかせ、みんなが気持ちよく生活することのできるルールを作り、そのルールを継続的に守っていかうとする態度を養っていくことをねらいとしている。

児童はこれまでに、学級目標である、「集中」ができていないことを話し合った。目標を設定した理由の一つとして「忘れ物0(ゼロ)にしたら学習に集中できる」とあげていたが、1学期末に振り返った結果、忘れ物がなかなか減らない事実気づいた。忘れ物をしないための工夫を話し合いは「宿題をしたあとに必ず準備をする。」と決まったが、自己責任の負うところで、やはり定着しなかった失敗経験を持っている。このことから、ルール作りの意味を考えさせ、ルール作りを行い、継続して守るためにはどのような工夫を見つけさせることが必要であると考えた。

ルール作りを行う段階では、協調性や人権尊重の力を、ルールを実践していく段階では責任感や規範意識を力が高まっていくと考えた。実践をしていく中で最初に決めたルールに問題点がでてくると思われる。そのときに、ルールを見直し、実践をするサイクルを繰り返すことで、自分の考えと友達のと折り合いを付けながら学級のルールが作り上げられるであろう。このことを通して学級集団の中でよりよい人間関係が築け、一人一人の社会性(協調性・責任感・規範意識・人権尊重)が高まるであろう。

このことから本題材は、掃除時間の学級の諸問題を解決するため、ルール作りを行い実践することで児童に社会性が育成される上で意義があると考えた。

○ そこで本題材の指導において、まず事前活動で気持ち玉を使って学校生活の一日を振り返らせ、児童自信が「気持ちよく生活できていない」時間がいつであるかを実感させる。その中から「掃除時間」では、人間関係によりトラブルが起きたり、いやなことを我慢している児童がいたりすることを把握した。時中の活動では、アンケートの結果から掃除時間のルールの必要性に気づかせ、ルールを守ることの意欲を高め、ルール作りを行わせたい。事後の活動では、1週間程度の実践を行い、毎日気持ち玉を使って振り返らせる。一週間後に反省点や新たな課題を出し合い、よりよいルールにしていくために見直しを行い実践する。また、掃除時間以外の課題を児童から提案させ、よりよい学級をつくるためのルール作りを行わせたい。

### 3. 目標

- 協力して掃除に取り組む学級集団をつくらうとする。(関心・意欲・態度)
- 自分達で掃除時間のルールを作り，ルールを守るための工夫を考えることができる。(思考・判断)
- 気持ち玉を使ってお互いの活動を評価しあい，相手の気持ちを理解する。(知識・理解)
- 掃除時間の友達の良い気持ちを知り，自分の考えと折り合いをつけながらルールをつくることことができる。  
(技能・表現)
- 自分の持ち場は責任をもって行い，みんなが気持ち良く生活できる環境を作ることができる。  
(技能・表現)

### 4. 指導計画

児童の活動	教師の指導	日時
<p><b>1. 事前 問題発見</b></p> <p>○ 「気持ち玉」の色を知り，○○したとき(○○の時間)の気持ちを色で表す。 (うれしい・たのしい・きもちいい・さびしい・かなしい・くやしい・おこった)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>質問例(学校の一日を振り返って)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝の会</li> <li>・ 読書タイム</li> <li>・ 1時間目～6時間目</li> <li>・ 中休み</li> <li>・ 給食</li> <li>・ 昼休み</li> <li>・ 掃除</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;"><b>課題頁例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力</li> <li>・ 生活習慣 (忘れ物 絵の具・)</li> <li>・ 家庭での・・・</li> </ul> </div> <p>「おこった・・・○○さんが，きれいにはいてくれなかったから」 「くやしい・・・○○さんがおくれてきたので，わたしがほうきもぞうきんもしたけど，最後までおわらなかったから」 「きもちいい・・・たくさんあった落ち葉が，きれいになくなったから」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帰りの会</li> </ul> </div> <p>○ 議題化</p>	<p>○ 自分の行動や思い，考えを明確にさせるために，「気持ち玉」の色だけでなく理由も必ず記入させる。(規範意識)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>うれしい ● たのしい ● きもちいい ● さびしい ● かなしい ● くやしい ● おこった ●</p> </div> <p>○ 自分の行動や気持ちが素直に書けるように，活動が終わってすぐに「気持ち玉」の記入をさせる。</p>	<p>十月二十八日(木)</p> <p>十一月十三日(金)</p> <p>朝の会～帰りの会まで</p>
<p><b>2. 時中 本時 ルールを作る</b></p> <p>○ 題材名「掃除にっこり大作戦」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アンケート結果を知り，クラスの課題を知る。</li> <li>2. 掃除時間のルール作りをする。</li> </ol>	<p>○ 全員がプラスの気持ち玉になるようなルール作りができるように，アンケート結果から掃除時間には気持ち玉が「かなしい・くやしい・おこった・さびしい」気持ちになっている人がいることを知らせる。</p>	<p>十一月十八日(水)</p>

<p><b>3. 事後 実践 ルールを守る</b></p> <p>○ 毎日、今日の気持ち玉は何色か考える。</p> <p>○ 定期的に、班（もしくは、同じ気持ちの色同士）で、集まってどうしてその色になったのか話す。</p> <p>○ 気持ち玉が、以前と変化しているか確認する。</p> <p>○ 学級全体で、目標達成度をはかる。 めざせ！掃除100点 (具体できに項目を決め) 「今日は、全員が黙ってそうじができたので、2点上げたらいと思います。」</p>	<p>◎ 一人一人が実践できるように、チェックカード(気持ち玉)は個人で記入する。(規範意識)</p> <p>◎ 相手に自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを理解したりするために、掃除の反省会では「気持ち玉」を使って理由を話すことを定着させる。(人権尊重)</p> <p>◎ 具体的に項目を上げ、プラスマイナスが視覚的に分かるように帯グラフにしておく。(責任感)</p>	<p>日常生活・帰りの会</p>
<p><b>4. 振り返り 問題発見</b></p> <p>○ 気持ち玉は良い方に変化しているか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私は、茶色から黄色になったのは、ルールが役にたっていると思う。</li> <li>・ 私の掃除区域は、やっぱり、おしゃべりする人が多いので、ルールの見直しをしたらよい。</li> </ul> <p>○ これからも毎日継続できるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルールが多すぎて、毎日のチェックが大変・・・→ ○個にしぼっていこう。</li> <li>・ 今週のもくもく掃除ナンバー1を決めよう。</li> </ul>	<p>◎ 責任者からの提案を受けてルールを見直す。(責任感)</p> <p>◎ ルールの改善点を聞き、自分の考えと相手の考えを折り合いをつけながら話し合う。(協調性)</p> <p>○ ルールを守ることの大切さに気づかせるため、困っている人の気持ちを「気持ち玉」を使って表現させる。</p>	<p>十一月二十六日(木)学級活動(1)</p>

5. 本時

本時 平成21年11月18(水) 第5校時 第4学年 組教室

(1) ねらい

- 掃除時間の友達の気持ちを知り、掃除時間のルールを考えることができる。 (思考・判断)

(2) 活動計画

児童の活動	教師の指導 ◎社会性を育成する手立て
<p>1. 気持ち玉の結果を知り、学級の課題を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 掃除時間の気持ち玉がマイナス(かなしい・くやしい・おこった・さびしい)だった人を知り、理由を考える。</li> <li>○ 気持ち玉が黄色(うれしい)だった人の理由を知る。</li> <li>○ 掃除の時間がなかったらどうなるかを考え発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 掃除時間に悪い印象を持っている人がいることが視覚的に理解できるように結果をグラフにして提示する。</li> <li>◎ 周りの人のもやもやした気持ちを知るために、理由を聞く。(人権尊重)</li> </ul>
<p>めあて</p> <p>みんなの気持ち玉が黄(うれしい)や赤(きもちいい)になるような掃除のしかたを考えよう。</p>	
<p>2. ビデオを見て自分達の掃除を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ よい点・悪い点をワークシートに記入し、発表し合う。</li> </ul> <div data-bbox="140 875 839 987" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想される反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅れてきている。→相手の人が大変だ!</li> <li>・おしゃべりをしている。→時間内に終わらない!</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ビデオを参考に今の自分達のできていること、できていないことを振り返る。</li> </ul> <p>3. クラスで共通する掃除のきまりをつくる。</p> <p>(1) よいと思う掃除の仕方を出し合い、クラスで取り組むことを決める。</p> <div data-bbox="185 1200 788 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想されるルール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①遅れてきたらあやまろう。 →あやまってくれたら反応しよう。</li> <li>②もくもくそうじ。 →おしゃべりをせずに集中すれば、時間内に終わる。</li> </ul> </div> <p>(2) リハーサルをする。</p> <p>(3) 責任者を決め、達成度をチェックする方法を知る。</p> <p>4. 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日の感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上学年の掃除時間のモデルビデオを見せ、自分達の掃除を振り返らせる。</li> <li>◎ ルールの必要性に気づかせるため、できていないことを明確にさせる。(規範意識)</li> <li>○ ルールづくりの条件を提示する。</li> </ul> <div data-bbox="895 1267 1474 1384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 本当にできるルールか。(実現可能)</li> <li>2. どの立場の人のことも考えている。(公平性)</li> <li>3. 学級目標に近づきそうか。(学級目標にかなっているか)</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手の話を聞き、自分の考えとの共通点や相違点を考える。(人権尊重)</li> <li>○ 学級で一つのルールを作るために、折り合いを付けながら話し合う。(協調性)</li> <li>○ 議題箱を活用するよさを伝えるために、ルールが作れたことを賞賛する。</li> </ul>

6. 評価

- 協力して掃除に取り組む学級集団をつくろうとすることができたか。(関心・意欲・態度)
- 自分達で掃除時間のルールを作り、ルールを守るための工夫を考えることができたか。(思考・判断)
- 気持ち玉を使ってお互いの活動を評価しあい、相手の気持ちを理解することができたか。(知識・理解)
- 掃除時間の友達の気持ちを知り、自分の考えと折り合いをつけながらルールをつくることができたか。(技能・表現)
- 自分の持ち場は責任をもって行い、みんなが気持ち良く生活できる環境を作ることができたか。(技能・表現)